

羽生善治さんの言葉

6月も半ばになり、涼しかったかと思うと急に真夏のような暑さになったりするようになりました。こうした気温の変化にしっかりついていける体を作るのは一人一人の心がけです。できる限り元気に外遊びをして、来るべき本格的な夏に備えましょう。ただし、無理は絶対いけません。体育や外で遊ぶ時はマスクを外して、少しでも体調がおかしい時はゆっくり休みましょう。

さて、皆さんは将棋を知っていますか。81マスの将棋盤の上で、相手の王将駒を取ったら勝ちというゲームです。将棋にはプロの将棋士がいます。最近、藤井聡太さんが有名です。その中の羽生善治さんという棋士が、プロとして1500勝を達成したというニュースが先週報じられました。中学3年生でプロデビューしてから36年5か月、真剣勝負のプロの戦いを2156回も戦って手にした栄冠です。羽生さんは、25歳の時に将棋の7つのタイトルを全てとった才能豊かな方です。「天才」ともいわれ、特に勝負の中盤から終盤に信じられない手を繰り出して一気に形勢を逆転させる、自分の直感を信じて将棋を打つスタイルは、



「羽生マジック」とも言われました。その直感ですが、これは、何となくというようないい加減なものや、いちかばちかの一発勝負というものではないようです。これまでの自分の経験をフル動員して、その中から出てきたひらめきのことなのだそうです。豊かな必勝の一手のひらめきをどのようにして生み出すのか、その答えを羽生さん自身はこう語っています。

「努力を積み重ねることです」

必勝の一手のひらめきも、人知れぬ努力の積み重ねの上にあるということですね。

どんなに才能や環境に恵まれたとしても、日々の努力なくして立派に仕上がるということはありません。逆に、始めはあまり目立たない人でも、努力を続け、自分を磨き続けることで立派になるということはたくさんあります。最後に、もう一つ羽生さんの言葉を紹介したいと思います。

「才能とは、一瞬のひらめきやきらめきではなく、情熱や努力を継続できる力だ」

羽生さんは、「羽生マジック」といわれたひらめきよりも、その元となる自分自身のやる気と努力を大切に思い、自身を磨いてこられたのだと思います。

羽生さんの言葉を胸に、自分の力を信じて努力できる人になって欲しいと思います。